

びふか  
三歳台です

こんにちは。

2013年10月号

発行 / 北海道美深町議会 編集 / 議会広報特別委員会

〒098-2252 北海道中川郡美深町字西町18番地 TEL01656-2-1651

印刷 / ㈲美深印刷



第1自治会  
松江

シリーズ  
元気な高齢者③

榮さん  
96歳

第3回定例会  
「チョウザメ産業化へ」補正可決 …… 2P～4P

どう使われたか。平成24年度決算を審査 …… 5P～9P  
決算審査特別委員会

町政の論点、ここが聞きたい …… 10P～12P  
一般質問に3議員

委員会レポート …… 14P～15P

第87号

# 第3回定例会

## チヨウザメの養殖産業化 拠点整備へGOサイン

平成25年第3回定例会は、9月9日から13日の日程で開催され、条例改正1件、財産の無償貸付1件、規約の変更1件、補正予算7件、決算認定7件、同意1件、意見書1件が審議され、最終日の本会議において、いずれも原案可決された。



### ●財産の無償貸付

#### 内容

①貸し付ける財産  
旧恩根内小学校の

#### プール

(1)建物  
〔構造〕木造・鉄筋  
造延床面積486・  
20<sup>2</sup>m<sup>2</sup>

(2)〔土地〕恩根内57番6  
〔面積〕1,883m<sup>2</sup>

②貸し付ける相手方  
㈱美深振興公社

③貸し付ける理由  
チヨウザメの養殖

産業化に向けた養殖

拠点施設の整備によ

り、新たな地域産業

創造による地域活性

化と継続的な事業展開に資するため。  
④貸付期間  
平成25年10月1日から平成35年3月31日まで

質問 旧来チヨウザメ養殖事業は、町が非常に力を入れて推進してきた事業と認識している。今回、新たに施設を美深振興公社に貸し付けてチヨウザメ養殖を実施するという理由は。

企画G主幹 平成9年にチヨウザメ館をつくり展示する一方、北大の技術指導を受け、ふ化率が高くなつた現状にある。

チヨウザメをさらに有効活用できないに有効活用できないか北大を中心平成23年度から6次産業化を目指した研究開発に取り組んでいる。この研究開発における本町の役割は、

チヨウザメの増産による養殖産業化であるが、現在の施設では増産化に対応できないため、美深振興公社が事業主体となり経済産業省の補助事業として旧恩根内小学校プールを整備し、事業を開拓していきたい。

質問 民営化で事業を開拓するのであれば、無償で譲渡しても良いのでは。

企画G主幹 まだ養殖産業化に向けた事業展開が完全に確立されていない。

企画G主幹 今回の経済産業省の補助についても、研究開発の支援補助になつている。この施設を活用して養殖産業化の目途がたち、経営可能となつた時点で財産の譲渡も考えられる。

原案可決(賛成多数)

# 第3回定例会



生活環境G主幹  
定管理者と点検をし  
ながら排雪作業を実  
施し、再発防止に努  
めます。

質問 除雪センター  
でも過去に同じ事が  
あつたにも関わらず、  
事故を起こしたのは  
職務怠慢ではないか。

理は指定管理者の觀  
光協会で行い、除雪  
は総務課と連絡を取  
りながら、町の重機  
で処理している。

先が折れたための予  
算だが、どこが管理  
し、冬期間の除雪は  
どの様に実施してい  
るのか。

## バスターーミナル 改修工事費

●補正予算審議  
主な質疑

34時間で78日から  
施設G主幹

質問 9月4日未明  
から豪雨で、のり  
面、土砂流失の補修  
だが、雨量の状況を  
どのように把握して  
いるのか。

## 西里報徳線の 災害復旧費



東1条通街灯

維持管理も含め、  
技術的な立場からも  
今後建設する施設に  
ついても十分検討し、  
注視しながらの建設  
に心がける。

施設G主幹 現在の  
屋根にもう一段屋根  
を重ね改修。  
維持管理も含め、  
技術的な立場からも  
今後建設する施設に  
ついても十分検討し、  
注視しながらの建設  
に心がける。

質問 どのような改  
修をするのか。日頃  
の施設管理も重要で  
はないか。

ミリの降雨量、土砂  
流失は11路線に及ん  
だ。

維持費で対応してい  
るが、一部農業排水  
路が横断しており、  
緊急な処置が必要な  
ため。

## 街灯等改修工事

質問 今回実施の地  
域と今後の計画は。

生活環境G主幹 今  
回は東1条通を中心  
にLED化する。

質問 9月4日未明  
から豪雨で、のり  
面、土砂流失の補修  
だが、雨量の状況を  
どのように把握して  
いるのか。

## 平成25年度 一般会計補正予算

一般会計補正	補正前の額	補正額	補正後の額
	41億2444万円	1億3376万円	42億5821万円

### (主な補正内容)

町営プール改修工事(屋根張替・外壁補修等) .....	3700万円
商店街活性化事業補助金(プレミアム商品券発行) .....	1200万円
チョウザメ養殖施設整備事業補助金 .....	1000万円
びふかアイランド外灯改修 .....	800万円
旧美深中学校教員住宅補修費 .....	730万円
美深庁舎ほか8箇所トイレ改修 .....	724万円
びふかアイランド駐車場側溝改修 .....	660万円
ぬくもり助成事業費(非課税世帯等助成金) .....	507万円
美深バスターーミナル車庫改修 .....	447万円
農業資材格納倉庫補修工事 .....	260万円
自給飼料確保対策事業補助金 .....	120万円

施設整備事業  
チョウザメによる  
の必要は。

企画G主幹 施設整  
備とは別に200尾  
を試験用として購入  
し、魚体の更新とコ  
ラーゲン(化粧品  
向)抽出にはどの様  
な課題があるのか。



# 第3回定例会

ラーゲン抽出の安定供給をめざす。  
ロシア領事館から  
の情報提供を活用し、  
チヨウザメ料理を生  
かした集客もめざす。

質問 26年に本格養殖をめざし、28年までは北大のビジネスパーク地域指定になっているが、以後の指導体制は万全か。



反対討論  
岩崎議員

チヨウザメ養殖施設整備事業補助金1000万円について  
は、まだ研究の段階で事業展開には時期尚早であり、美深振興公社に事業主体を移して補助金を交付することには反対。

美深振興公社への1000万円の補助金については、経済産業省の「ものづくり中小企業連携支援事業補助金」を受け



賛成討論  
諸岡議員

た、総事業費250万円の事業の一部と理解している。チヨウザメ養殖事業については、本件補正予算案には賛成である。

町が施設整備して、責任を持って現在進めている指定管理制度の中で運営し、より良い結果を見出すようにすべき。

また、事業主体が美深振興公社という場合、議会として事業内容に踏み込んだ議論ができるといふことも懸念される。

企画G主幹 北大を中心とした文科省の補助がある28年までの5年間で、成果が出てくると考えている。

## 原案可決（賛成多数）

〔質問者 岩崎・藤守・南・藤原・小口・諸岡・齊藤議員〕

## ●条例改正

### 町有林野管理条例 の一部改正

内容 町内在住の重田善晴氏から、報徳地区に所有する山林6万6989平方メートルの寄附の申し出があり、採納したことによる条例改正。

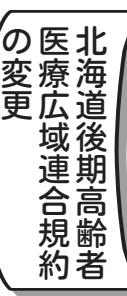
## 原案可決（全員賛成）



美深町教育委員  
宮原宏明氏の

任命に同意

宮原氏は、平成17年10月1日から2期務められ、今まで。任期は平成29年9月30日まで。



## ●規約変更

内容 住民基本台帳法の改正により、外国人住民が住民基本台帳の適用となつたことから、市町村が当該連合に納付する負担金の算定に関する規定中「外国人登録原票」にかかる文言を削除するもの。

## 原案可決（全員賛成）

## 意見書採択

### 意見書要旨

道州制導入後の国の具体的な形を示さないまま、期限を区切った導入ありきの内容で、事務権限の受け皿という名目のもと事実上の合併を余儀なくされるおそれがあり、住民自治が衰退することは明らかであり、道州制の導入には反対する。

提出先 衆・参議院議長・内閣総理大臣 他関係大臣

# 決算審査特別委員会



岩崎決算審査特別委員長

## 平成24年度決算 実質収支3億7300万円の黒字 健全財政を維持

平成24年度美深町各会計決算審査特別委員会（岩崎泰好委員長）は第3回定例会の会期中の9月11日・12日の2日間にわたり開催された。審査にあたっては、主要施策評価調書を用い「第5次総合計画のまちづくり基本目標」に基づき決算審査が行われ、全員一致で「認定すべきもの」と決した。

### 自然環境と調和する 安全・安心なまち「美深」

質問 町道の橋梁で大型農業機械の運行に不便が生じている。長寿命化計画で対応できないか。

施設G主幹 長寿命化は橋の寿命を延ばす事業。橋の幅は道路と一体になっており、単独整備は難しい。

企画係長 デマンドバスは協議会の議論を踏まえて運行している。協議会は継続して開催するので、地域の方から情報を得て協議していく。

質問 仁宇布線のバス運行で土日の運行を希望する声が多いが、どのように協議されているのか。

商工観光係長 22年・23年に住宅整備後、24年から受け入れ始めた。

質問 ちよつと暮らしへ体験と、きいつしょ推進協議会の対応は。

質問 農村部で拡幅できる可能性のある橋も見られるが、実態はどうなのか。

質問 ゴミ処理問題で目標は達成できているようだが、ゴミ減量の課題はないのか。

質問 高齢者が安心して暮らせる住宅環境をどう考えるのか。

総務G主幹 当初の予定よりも安価な製品ができたことにより、機種を切り替えた結果、予算が残った。

施設G主幹 大幅に狭い橋はない。整備するには道路全体が対象となり、事業採択は困難である。

住民生活課長 町民の協力で予定通り処

住宅係長 公営住宅の高齢者率も高まっており、バリアフリーも考えなくてはならないが、早急にはできない。長寿命化計画は引

〔質問者 諸岡・小口・藤守委員〕



町内を運行するデマンドバス

# 決算審査特別委員会



更なる活用が期待される農業振興センター

## 資源を活かす 活力に満ちたまち「美深」

質問 農業振興センターの活用と経済性については。

振興センター所長 土づくりを図つて農業を振興。食品加工についても研修会など実施。農家自縫での活用・運用をしている。

質問 振興センターと農協・農家との横の連携が足りないのではないか。

振興センター所長 指摘は言われるとおり。まず実績をPRしていきたい。

質問 農産品・畜産品の加工販売はできなか。

振興センター所長 一部専門の資格が必要な場合もあり、一般利用者との併用が難しい。

農業G主幹 日本最北のハルユタカとしてPR。企画グループが関係機関と連携し販路拡大PRをしている。

農業G副主幹 高齢化も進む中、農協・振興センターと協議し、通年で雇用確保できるよう、モデル地区を設定し検証していく。販路拡大の成果は、餅米についてはイオングンで150トンほど

質問 農業G主幹 新規就農の相談案件は増えている。リスクもあるが支援していく。

質問 新規就農について、TPP・生産調整が課題で担い手育成が進まないので

農業G主幹 生産は横ばいだが、男爵の作付面積は増えている。ポテトハーベスターの導入で労働力・作付面積の減少を防いでいる。

教育G副主幹 学校の存続が第一。魅力ある学校づくり

質問 町は美深高校に対し、何に主眼を置いて助成しているのか。

農業G主幹 ポテトハーベスター導入に補助しているが、ジャガイモの生産は増えたか。小口・諸岡・藤原委員〔質問者 藤守・南・小口・諸岡・藤原委員〕

質問 今後美深高校にどのような学校になつてもういたいのか。

## 次代を創る人を育てるまち「美深」

質問 町は美深高校に対し、何に主眼を置いて助成しているのか。

質問 町は美深高校に対し、何に主眼を置いて助成しているのか。

質問 ポテトハーベスター導入に補助しているが、ジャガイモの生産は増えたか。小口・諸岡・藤原委員〔質問者 藤守・南・小口・諸岡・藤原委員〕

# 決算審査特別委員会



美深高校授業風景

**質問** 7年後の東京オリンピックが決定したが、スポーツ活動推進、タレント発掘事業の今後の意気込みは。

**体育振興係長** エアリアルに特化した取り組みをし、町全体として幼児から体力づくり、選手育成に取り組んでいる。オリンピックに向けてタレント発掘で

**質問** 山村留学生が6人増えている現状を、どう分析しているか。

**教育G副主幹** 問合せ件数は増えていが、受入住宅の関係で新規受付はして

いない問題だが、従来の方法は継承しつつ、新しい方法を模索している。

**教育G副主幹** 難しい問題は、教育委員会内で協議している。

**質問** 緊急通報システム、移送サービス、訪問介護、老人福祉施設措置事業の課題は。

**福祉係長** 緊急通報システムは事務処理の効率化、管理運営業務の委託検討が必要

## 健健康で明るく暮らせるまち「美深」



長野県・白馬村での合宿

要。

移送サービスは美しいので検討の必要がある。高齢者、人工透析では今後利用者が増えるので運営方法の見直しが必要。

**質問** 移送サービスの状況・人工透析の通院者数・輸送手段への補助・介護員の状況は。

**質問者** 小口・藤守・藤原・南・諸岡委員

訪問介護事業所運営補助事業では、訪問介護員の確保、増員が難しい。老人福祉施設措置事業では対象者が増え、町の負担が増加している事が課題。

一步でも前に進みた

アップに伴い、経済的な負担が増えている。指導体制と合わせて、今後どうしていくの

か。

ジエクト委員会の予算では全額面倒を見ることはできないが、今後検討が必要と考えている。

指導者を増やし、レベルに合った練習を進めたい。

**質問** エアリアルの子どもたちのレベル

指導体制と合わせて、今後どうしていくの

か。

社会教育係長 プロ

# 決算審査特別委員会

**福祉係長** 移送サービスは歩行困難な人が対象で年間38回。人工透析患者が利用する場合、52回が限度で24年は2人が利用。

人工透析者は11人で全員名寄に通院。自家用車の場合、バス料金の半額助成。介護員は24年度欠員状態が続いた。

**質問** 国では年齢で特定不妊治療の対象者を絞っているが美深はどうなのが。  
**保健福祉G主幹** 国の制度に準じている。

**質問** 国民健康保険安定基金はどのように状況で使用するのか。  
**後期高齢者支援と後期高齢者保険との関係は。**

**質問** 基金の今後の取り崩しの見通しは。

**国保医療係長** 被保險者数は減ってきている。一人当たりの医療費は増えているが全体の医療費は減っている。取り崩しは今後の医療費の状況による。

**質問** 基金の今後の取り崩しの見通しは。

**保健係長** 現在の検診では生活習慣病とがんの早期発見が主となる。

**質問** 見つかりにくい病気がある中、従来の各種検診以外で可能な検診は。

**国保医療係長** 被保險者数は減ってきている。一人当たりの医療費は増えているが全体の医療費は減っている。

**質問** 地域人材育成事業の達成状況の評価が低いが、その理由は。

**企画係長** 目的としては、町民が広く町政に参加してもらうことと、起業してもうための研修だが、参加者が少なく、新

**質問** 町おこし協力隊への支援体制と3年任期後の対応は。

**質問** みんなでつくる心かようまち「美深」

**企画係長** 活動のための費用はすべて予算計上している。

**質問** 小口・藤守・諸岡・齊藤委員

**質問** 厚生病院への医療機器の整備支援の考え方は。

**保健福祉G主幹** 医療機器の支援は、優先度を病院と協議し決めている。

**質問** 中学生の医療費はどのくらい発生しているのか。

**保健福祉G主幹** 乳幼児の医療費助

**質問** 中学生の医療費試算は、平成24年度で自己負担額160万円程。中学生の医療費補助は国の支援策等を判断して考えたい。

**質問** 成は中学生にも拡大できないか。



導入されたストレッチャー用体重計

## 總括質疑

**質問** 高齢者の身近な交通手段の確保に向け農村部の公共交通空白地帯をいかに解消していくか。偏った地域の公共交通網の整備は住民の公平性に反するのでは。

**総務課長** スクールバス併用の方法もあるが重要な課題として認識している。しかし財政的問題もあり、農村部の空白地帯のバス運行は今のところ考えていない。状況を見ながら考えたい。

## 副町長 公共交通の公平性

副町長　公共交通機関の確保の点では、上田市ではスクールバスを活用してもらっているが不十分であることは認識している。活性化協議会でも農村部への対応が課題。高齢者、障害者の活動範囲を拡大できる方策を考えたい。

**質問** 美深農業の重要課題の一つとして労働力の確保対策があるが、主要政策評価調書の事務事業評価において課題を残している。対策をいかに図るのか。

**副町長** 行政だけではなく農協・生産者との協議研究をしたい。畜産酪農畑作を通じて雇用保障体制を整備して通年雇用の方法はないか、あわせてアルバイト的な人材の確保ができないかを農業者組織と考えたい。

**質問** 企業誘致に期待がされた企業が"計画断念したところだが、今後の企業誘致の行く末は。

**総務課長** 今回の企業は残念ながら計画断念したが、今後もつながりをもちながら誘致活動していく。また、新たな企業の誘致も進めたい。

**質問** まちづくり応援基金を通じて町のPR、寄附された方との交流事業展開ができるのか。また寄附された方を広報誌等で紹介することも必要では。

**総務課長** 寄附された方には町の特産品を贈っている。寄附のメニューは7項目用意しているが指定なしで寄附してくれる方もいる。寄附者の公表については、匿名を希望される方もいるため難しい。寄附を通じた町のPR方法は検討したい。

**質問** 今後の体育振興を行政としてどのように支援していくか。

**教育長** 体育振興は関係組織と継続して協力関係を築いていくが、総合型地域スポーツクラブの体制整備が大前提、法人化が目えた段階で具体的に協議したい。

〔質問者 諸岡・南委員〕

# 決算審査 特別委員会

スキー場景観整備については、人的支援として緊急雇用対策事業で対応。  
3年間で自立して、定住していただくのが目標。

業（富士重工）と定期的に交流し、人的交流、ふるさと交流ネットワーク作りが目的。

会活動活性化に有効だと思うが、課題は。  
**調整係長** 交付金終了後も各自治会がどう取組むかが課題。

細かに行っている。  
整理機構加入が満  
納の抑止力となつて  
いる。

**調整係長**　自治会活動の課題については、地域担当員がパイプ役となって相談、助言を行なう。自治会・行政が一緒になつてより良いまちづくりに励みたい。

**副町長**　地域担当員については、あえて出身自治会以外に配置している。

町職員である以上、

社会教育係長 男女共同参画については、講演会開催、広報誌で周知、PRしていく。  
各種委員会等の女性の登用は上川管内では低くはない。

# 一般質問



小口英治議員

- ① 生活困窮者に対する援助策と子育て支援について
- ② 地場産品の育成と町中の環境整備について



空き地・空き店舗が危惧される商店街

問

生活困窮者への援助策は

答 ぬくもり助成事業で対応

質問 本年8月から始まつた生活保護費減額、年金受給の先延ばし、電力料金の値上げと経済状況が悪化する中、燃料費一時扶助60世帯1万円を予算計上しているが、他の手立てはないか。

質問 子育て支援として、中学生の医療

町長 現在の厳しい状況の認識は同様で、社会福祉協議会等と連携を取りながら当初予算より増額して、町の商品券での配布を考えている。

費無料化及び保育料の町単独助成の考えはないか。

を整理する中で判断する。

町長 北海道の補助事業の対象から順次範囲を拡大する方向で進んでいるが、財源の確保や国の動向を注視しながら課題

教育長 23年に保育料を改定した状況で直ちに改定の考えはないが、今後の子育ての状況と環境等充分見極める。

質問 3月定例会でも道の駅アツルの活性化策と地場産品の育成について質問したが、未だ改善されていない。再度代表取締役としての考え方

問 商業地の住環境整備をどう構築するのか  
答 新年度から運用出来る支援制度に取り組む

町長 町長としての考え方だが、取り扱う商品の見直しや陳列方法の改善はもとよ

り、新たな商品開発にチャレンジするなど地場産品の付加価値向上や、美深町の情報発信施設としての更なる努力をする。

質問 商業地の環境整備だが、不在店舗及び店舗跡地の空洞化の問題と、居抜きのまま町に寄贈する

町長 商工業の担い手となる新規開業者や事業を継続する方を支援する制度を新年度から運用できるよう、商工会等とも協議しながら内閣検討を進めている。空き店舗の取り扱いは老朽化の程度、活用の可否等で判断



有効利用が期待される物産館屋外展示場



諸岡 勇議員

# 一般質問

① 学術保護地帯の保全について

**質問** 昭和48年学術自然保護地域、51年ピヤシリ松山湿原環境保全地帯に指定、観光・学術研究に秘境の地として見学を受けている。

風雪に耐えたアカエゾマツなどの針葉樹・湿原一帯は幻想的かつ神秘的で、特に松は2本が対のよう助け合いながら生息しているのも多く見られ、厳しい自然の情景がうがえり。大自然の攝理・学術的調査研究で更なる具体的資料で詳解出来ないか。

湿原、登山道には植物の種類も300種以上生息している。北海道医療大学堀田准教授とのつながりと、町内に多くの自

生する薬用植物等を詳解できる研究資料を、地元の植物薬草の産業化に結びつけられないか。

問

**専門分野の調査研究には課題がある**

**松山湿原は優れた自然、PRに工夫を**

**教育長** 風雪に耐えた松は美しく素晴らしい風景。道の各指定と共に、昭和58年に文化財保護条例に基づいて天然記念物を図っている。昭和46年の植物調査は、町内の理科を専攻された先生が資料として残され、また、医療大学の堀田先生とも交流を持つことができたが、基礎調査はなされていなかった。湿地は柱状節理もみられるものの、全てが眼中に見える形には成っていない。

補修は来年度予定

**質問** 登山道では、倒木更新や凍裂現象等の、厳しい自然の節理や貴重な自然現象を目の前で知る事もでき、女神の滝では柱状節理もみられる。貴重な自然現象だが、現状では立ち入る事ができない。

補修は来年度予定

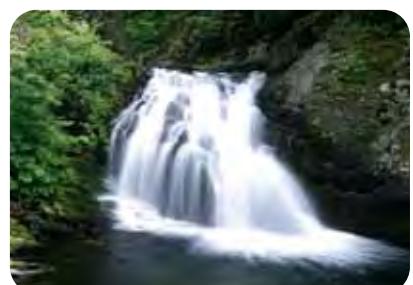
さらに、仁宇布地域では、砂金採取又は化石の採取がなされたと聞く。研究材料として、過去の大

**町長** 倒木更新などについてガイドの研修に情報提供する。湿原の補修は来年

と認識する。薬用植物について機会をみて町民にPRできないかと思う。

自然保護地区として補修は考えられないか。道はチップが敷かれているが雨で流出し危険である。

砂金などは、森林セセンターの方と話した経緯では、環境保全の立場で難しい。砂金などは、森林セセンターの管理。女神の滝の柱状節理は奥まで立ち入ると絶景が見えるが、セセンターの方と話して補修は来年度予定



女神の滝

# 一般質問



岩崎泰好議員

- ① 観光資源の環境整備とりわけ道路整備などの対策・対応は。
- ② 「どこでもWi-Fi事業」で町全体の情報化実現と、行政情報の発信体制充実整備の考えは。
- ③ 学校給食準備委員会の構成とスケジュール、進め方について。



安価で設置が可能になったWi-Fiフリースポットの例  
(道内八雲町の取り組みが顕著な例)

質問 北海道がすすめる観光振興と、道北のシニックバイウェイ構想の動き、わが町の教育旅行誘致活動など、観光の拡大が期待される。5つの滝周辺では、大きな課題として道路や環境などの整備が急務。考え方と対策は。

町長 それぞれの滝につながる道路整備の現状は、バスが旋回できるように改良したり、危険箇所への対応、遊歩道の改修、道路の路盤改良を行い、標識の

質問 主要公共施設に無線による無料高速データ通信網『フリースポット』を整備し、町全体の情報化利便性の向上実現と、行政情報の発信体制充実の考えは。

町長 総務省の情報通信白書によれば、約8割程度の世帯がインターネットを利用し、わが町においても光ファイバーによる通信契約が7月末時点で641件で当初の予想を大きく超えている状況。

質問 学校給食準備委員会の構成と進め方について。

答 十分協議ができるメンバー構成

質問 学校給食調査特別委員会の10回にわたる議論の経過と、論点となつた建設場所

教育長 学校給食準備委員会は、それぞれ学校関係者・PTA・商工会・農協・栄養士・食品衛生関係者で構成し、十分協議ができるメンバー。

更新等も行つてきた。  
今後も、隨時維持

管理していく考え方。  
高広の滝を取り巻く整備等は、指摘のように景観に配慮するよう対応した。

館COM100の2箇所で利用できる環境を整えており、ほかに民間事業者もサービスを提供している。

本来であれば実際に学校給食を担当する栄養士がメンバーにいることが必要で、道の教育委員会等に職員の派遣ができるいかということも現在要請中。

学校給食調査特別委員会の議論内容、特に建設場所については両論があつたという報告を準備委員会の中で説明し、協議の参考とする。

準備委員会の内容は、ホームページで公開しており、今後も結果等を逐次掲載する考え。

住民からの意見等についても、広報誌等でお知らせするので、ご意見をいただければと思う。

問 観光の大型化に道路整備などは維持管理の中で対処

質問 高広の滝を取り巻く整備等は、指摘のように景観に配慮するよう対応した。

館COM100の2箇所で利用できる環境を整えており、ほかに民間事業者もサービスを提供している。

準備委員会は、それぞ

れ学校関係者・PTA・商工会・農協・栄養士・食品衛生関係者で構成し、十分協議ができるメンバー。

## カナダ日本総領事館での夕食会

美深町議会副議長 齊 藤 和 信

8月4日～10日の日程でアッシュクラフト村を、美深知町長を団長とした8人で親善訪問しました。

最終日には、在バンクーバーの日本国総領事館公邸での夕食会にご招待をいただきました。

総領事館は、築100年以上経過した建物で非常に立派で風格があり、綺麗に整備された中庭の景観には目を見張るものがありました。(写真は中庭にて)

夕食会は、岡田総領事夫妻・内田主席領事・コマンディ議長・金丸夫妻と訪問団8人の14人で始まり、最初に一人一人の自己紹介。その後、フルコース料理に舌鼓を打ちながら、色々な会話を楽しみ2時間以上の時を過ごしてきました。貴重な体験をさせていただく機会に恵まれました。

左より金丸氏、本人、岡田総領事、山口町長



## 議会カルト

- 主な内容
- ①議案に対する議員個々の採決態度と公務活動を議会広報で公表
  - ②議会報告会開催
  - ③議員報酬と長期欠席議員の減額措置
  - ④議案質疑の回数制限無し(通常3回の規定)
  - ⑤広報委員会の常任委員会化
  - ⑥議会中継
  - ⑦傍聴者の写真・録音の自由など

■研修日7月12日  
足寄町議会の「議会総合条例」について



## 議会広報特別委員会 研修

平成25年8月19日に札幌京王プラザホテルで開催された研修会では、広報コンサルタントの深沢徹氏から各市町村議会広報のクリニックを中心に、紙面づくりのノウハウを研修した。

又、岩見沢市栗沢町のクラインガルテン(滞在型貸農園・日帰り型市民農園・体験農園等)を視察し、我町の市民農園と比較しながら将来構想の話題で盛り上がった。

## 議会運営 委員会 研修



足寄町 庁舎前



# レポート

## ふるさと応援基金 目的を絞って活用を

### 総務住民常任委員会

「美深町活性化促進補助事業」のこれまでの取り組み実績とその後の状況、今後

遠くは台湾からも。

さて本題の広報誌だが、関心を持って読んでくれている人、大雑把に読んであまり印象が残っていない人、温度差は様々だが概ね読んでもらっている印象だ。

多くの人は興味のある一部の記事だけを読むとのこと。当たり前の話だ。ならば興味を持ってもらえる内容の記事をたくさん載せれば良い。これもまた当たり前の話だ。世の中、当たり前のことが一番難しいともいう。

遠く利尻富士の方角を望むと、山の頂は見えたような、見えなかったような・・・。

広報誌の課題もまた、雲のかなたにあるような、そんな思いを抱きつつ山を下りた。

#### 調査の目的 調査事項 2

「ふるさと応援基金」として平成20年度から運営され、これまでに全国から延べ3人から1888万円余の寄附が寄せられている。寄附金は指定事業を設けて利活用しているが、一般会計の細部にまで充当しており、今後は指定事業を具体化して、重点課題に利活用するメニューとし、わが町の振興すべき事業、農業・商業の担い手について

■調査のまとめ  
この事業は昭和63年に条例化され、これまで49事業、約1億8160万円余の事業費に対し、約4700万円の補助実



特産品として開発された「カボチャどじろく」

■調査の目的  
「ふるさと納税制度」現状と課題について  
度」これまでの実績と利活用についての調査と今後の課題について

ふるさと応援基金として平成20年度から運営され、これまでに全国から延べ3人から1888万円余の寄附が寄せられている。寄附金は指定事業を設けて利活用しているが、一般会計の細部にまで充当しており、今後は指定事業を具体化して、重

#### ふるさと納税累計

指定事業	件数	金額
街づくり応援	196	1,589万円
COM100 運営	8	119万円
公共施設整備	3	126万円
地域福祉	13	46万円
災害見舞	10	8万円
合計	203	1888万円

#### S63～H25美深町活性化促進補助事業

補助事業件数	事業費	補助金額
51	1億8,157万円	4,699万円

#### 継続中の主な事業

イベント研究開発  
まちおこし創出  
まちおこし創出  
特産品研究開発  
ひふか夜市  
トロッコ王国  
天塩川漢方の里  
白樺樹液「森の雪」

績がある。これまでの事業を検証すると特産品等研究開発事業は継続が30件、単年度事業が10件、中止が8件、申請中が1件となっている。近年は地元農産品を活用した食品加工事業の利用が多いが、申請数は減少しており、これまでの事業の分析を含め利用促進策を検証すべき。補助採択後のアフターケア策とチェック

住民活動促進事業について広く町組織に利用され、経済効果もあることから今後も一層の利用促進を図るPRをすべき。ク管理も必要。また、きっかけづくりから企業立地条例に至るまでの事業展開を支援する施策もあることから、町民へのPR方法を検討すべき。

#### 調査のまとめ 調査事項 2

「ふるさと納税制度」これまでの実績と利活用についての調査と今後の課題について

■調査日  
7月31日

# 委員会

## 体育施設、 サービス向上充実を

### 産業教育常任委員会

■調査事項  
教育委員会が所管する体育施設の利用状況について（過去3年）

■調査の目的  
各体育施設が健全に運営され利用者サービスに努めているか  
調査点検する

育施設の利用状況に過去3年間の各体

8月12日

ついては、例年と大差ない利用日数となっている。

各施設での利用料金の収納状況は、パーカゴルフ場では24年券で22年、23年を上回り利用者が増えている。

その他、各施設や備品の小破修繕については、指定管理者と協議の上、その都度補修改修に努めている。

各施設の指定管理者は公募で指定しており、指定期間を5年としているのは、年としているのは、雇用関係や施設管理上の管理作業機械導入に課題があるため。今後、教育委員会が所管する体育施設について、課題に調査検討を加え、町民の利用しやすい施設に改修改善することとし、関係機関のサービス向上、企業努力でさらに充実されることを期待する。

ンス改修が24年完了、パークゴルフ場が23・24年で緑化工事、トイレ案内板などの工事が完了している。スキー場の索道事業は直営で行い、運行作業は委託している。



町内の体育施設の利用状況を調査

- 【指摘事項】
- 新パークゴルフ場の水飲み場を新設すべき
  - 町民プールの屋根を改修すべき
  - 体育館の屋根塗装と修繕を検討すべき
  - お祭り、イベント時に利用される体育館内のトイレに不具合が生じているので調査検討し、早急の改修をすべき。



### 議員控室の独り言

この夏は連日予想外の雨続きで、9月に入ってもその傾向が続いているが、9月21日は久しぶりの好天に恵まれた。

この日、参加した人たちに議会広報誌に対する印象を聞いてみようと、函岳ウォーキングツアーに参加した。

面識のない人にも話を聞くと、町外からの参加者が多いのに驚く。

名寄、士別、旭川、本州、



# 私たちのメッセージ



美味しいキャビアが食べられる

酒井正俊（第1自治会）

私が美深町に赴任が決まったのが、平成24年6月で、ちょうどその頃の新聞で「チヨウザメ養殖本格化」の記事を目にし、「美深に行つた

「美味しい牛ビア  
が食べられる」と非  
常に楽しみにこちら

に参りました。  
しかし、こちらに  
来て1年になります  
がチョウザメ肉やキヤ  
ビア等はなかなか口  
にすることができま  
せん。

いつでもすぐに食  
べられるようになる  
には、もう少し時間

が掛かるようです。  
それでも、チョウザ  
メ養殖事業に携わる  
皆様方の努力で養殖  
事業も確実に前に進  
んでいます。

した補助金等が可決され、安定供給に向けて更に大きく前進しました。残念ながら、この日の議会の傍聴は所用のため、できませんでしたが、自分の暮らす美深町の重要な事柄が議論される議会を可能な

限り傍聴したいと考えておられます。皆様も是非足を運ばれてはいかがでしょうか。

こんにちは。  
地域おこし。

**地域おこし協力隊の中島千世子です。（第4自治会）**

7月に地域おこし協力隊として美深に移住して3ヶ月が経ちました。

暮らしにも慣れてきました。  
こちらでの私の担当業務は、観光振興と高齢者宅配サービスです。

美深に来て驚いたのはイベントの多さです。3ヶ月で、夏祭り、盆踊り、秋祭り、函岳ウォークイングと町の4イベントに携わり、楽しみながらお手伝いします。

業務は、ご登録いた  
だいたお客様に、スー  
パーなどで買われた  
品物をお届けする業  
務で、いつも地図と  
にらめっこしながら  
宅配ドライバーを運転して  
います。

高齢者の皆様は、  
買物をするのも本当

に大変だと思います。少しでも皆様のお役に立てるようになります。

●表紙写真●

松江 榮さん（第1自治会・96歳）大正6年3月12日生まれ。四国出身。

北海道下士別にて父母とでんぶん工場開業後、智恵文智西にて農業や馬の育成を行う。馬の調教が得意だった。妻キミさんも88歳で元気。美深に来て30年。